

3 活動の様子・感想紹介

ボランティアを体験して、送ってくれた感想文です。活動して得られた喜びや達成感、各イベントの意義から学んだことなどがしっかりと書かれています。

(1) 一般ボランティアの活動の様子 《感想文は誌面の都合上、一部省略しています。》

4 月

小倉北区こどもまつり 4月21日(日) 小倉北区 西日本総合展示場新館



小倉北区こどもまつりの会場では、たくさんのゆるキャラが子どもたちをお出迎えます。ボランティア達は、ゆるキャラの着ぐるみや楽しい遊びが目白押しのイベントの運営補助を行いました。



○ 今回、僕の行った活動は殆どが個人で行うものだったため、あまり交流することはできませんでしたが、子どもまつりに参加して下さった人たちから頼られたときは、自分が必要だったのだという事に気づかされました。僕は高校3年生で、今まであまりボランティア活動をしてこなかったけど、今回の活動をもとに様々な活動に興味をもちました。人助けをすることの意義を学ぶ良い機会となりました。【小倉西高校3年】

○ 今回初めて北九州の青少年ボランティアに参加しました。最初はとても緊張したのですが、優しく丁寧に教えて頂き充実した1日を過ごすことができました。様々なブースでの活動に参加することができ、イベントの裏側や正しい敬語で丁寧に接客することの難しさを知りました。イベントが終わった後、来場者の方が楽しそうに帰って行かれるのを見て、とても嬉しく感じました。また、ボランティアに参加したいと思うと共に、様々な事を学び、笑顔あふれる世界にしていきたいためには、どうすれば良いのか考えていきたいと思いました。【九州女子大学3年】

若松区こどもまつり 4月28日(日) 若松区 グリーンパーク

若松区こどもまつりは、遊びやゲーム、ものづくり、スポーツなどのスタンプラリーや消防車乗車体験など、家族連れで楽しめるイベントです。ボランティア達は、受付や着ぐるみ、誘導・整理などの運営補助の活動をしました。



○ 今回、初めてボランティアに参加させていただきました。私自身、小学生のときまで、たくさんグリーンパークに行って遊んでいたのですが、若松区こどもまつりに行ったことはなかったのですが、グリーンパークでの活動ということにとても興味をもち申し込みました。実際に活動してみると、こういったイベントには多くの方が携わっていて、参加する方々のことを考えながら、一生懸命に運営していることが分かり、素晴らしいと思いました。そして、私も昔は参加する側でしたが、今回は、イベントの補助をする側になり、新たな視点でイベントに関わり小さい子や親子が楽しそうにスタンプラリーをしている姿を見ると私も楽しくなりました。なので、こういうイベントがこれからも無くなることなく開催され続けてほしいと思いました。そして私自身、人との関わりを大切にしたいです。【九州国際大学付属高校3年】

○ 子どもと触れ合う機会が多かったので、活動が単なる作業ではなくコミュニケーションになり、自分も楽しめました。園内の情報を聞かれることが多かったのも、もっとそのサポートができたなら良かったです。【広島大学3年】

戸畑区こどもまつり 4月29日(月祝)

戸畑区 夜宮公園周辺

子どもたちの健やかな成長を願う「戸畑区こどもまつり」が開催されました。青少年ボランティア達は、様々なブースで、楽しい遊びを提供する運営補助をしました。



○ 自分は教師になる事を夢見ています。教師を目指すのであれば、やはり子どもとの接し方を学ぶにはいい機会だと思い、今回参加することを決めました。実際に取り組んでみると、やはり子どもと接するのは楽しく、時間を忘れて仕事に没頭しました。その反面、全ての子どもに同じ声掛けをしていると良い反応や少し引き気味の反応をする子がいて、やはり子どもと接するには、皆同じように接してはいけないこと。一人一人の特徴や性格、顔色などを考慮して接していかないといけないということが分かり、子どもと接することの難しさを感じました。今回の経験を上手く将来の夢に役立てられたらと思います。【明治学園高校3年】

5 月

大谷あやめ祭り 5月3日(金祝) 戸畑区 大谷市民センター



「戸畑あやめ」は、明治末期まで現在の戸畑区原野にのみ自生し、一時は絶滅したと考えられた希少な植物です。青少年ボランティアは、保存・普及活動を進めてきた地域の方々と一緒に「戸畑あやめ」の開花時期にあわせて開催される祭りの手伝いをしました。



○ 今回の活動を通して、色々な年代の方々とお話することができて、とても良い経験になりました。祭りを運営することにも沢山の協力があり、工夫を凝らして大変さを痛感しました。今回は決まったブースを担当するわけではなく、人手が足りていなさそうな所に自分から声をかけて臨機応変に対応でき、思ったよりもスムーズに進み、片付けなども素早く終わることができました。今回のボランティアに参加して、初めてあやめ祭りを知ったので、これからは自分の地域についても知ってみたいと思いました。【北筑高校3年】

○ 初めて着ぐるみを着て子ども達の相手をしたが、とても楽しかった。着ぐるみを見るだけで喜んでくれて、写真を撮ったりハイタッチをしたりしてきつかったけれど、とても達成感があった。誰かのために行動することが実感があったし、次のボランティアにも全力で取り組もうと思った。【小倉西高校3年】

わくわくサイエンスフェスタ 2024 春 5月5日(日祝) 八幡東区 北九州市科学館分館 ANNEX

北九州市科学館(スペースLABO)が実施する最大のイベントです。「市民に身近な科学、工作の楽しさを味わってほしい。」という願いのもと、地元企業やいくつもの大学、高等専門学校などの協力で実施され、実験や工作の補助などのボランティア活動を頑張りました。

○ 今回のボランティアは、風力を使いセロハンテープで12個の風船をつなげたものを空中で回転させるという企画の手伝いをしました。途中で一人の女の子が「これが一番楽しかった」と言ってくれて、とても嬉しかったです。子ども達の笑顔を沢山見ることができて、とても幸せな気持ちになりました。私まで笑顔になり、笑顔が伝染しました。そんな子ども達を見て「喜びと笑顔は人の心を温める。人と人を結び付けてくれる。」そして、「喜びの感情を恥ずかしがらずに表に出すことは、大切だ。」を学びました。参加して良かったです。【クラーク国際記念高校3年】